

ことば せつめい 言葉の説明

夜行性 おも よる かつどう せいしつ
主に夜に活動する性質のこと。

特定外来生物 せいたいけい のうぎょう すいさんぎょう ひがい およ がいらいしゅ
生態系や農業・水産業などへ被害を及ぼすおそれのある外来種の
なか くに してい
中で国が指定しているいきもの。

もともと日本にいなかったいきものなので、日本にいるいきもの
を 食べたり、住みかを 奪ったり、人間の生活に迷惑をかけてしまっ
たりするため、持ち帰って他の場所に移したり、育てたり、売ったり
することなどが原則的に禁止されている。

頸部 あたま どうたい ぶぶん
頭と胴体とをつないでいる部分。くび。

卵胎生 たまご なか はい なか なか こ すがた そだ
卵の中に入ったまま、メスのお腹の中で子どもの姿にまで育て
から生まれてくるいきものの性質のこと。

カダヤシやマムシ、タニシなどが有名。

絶滅危惧種 ほご ぜつめつ やせい
保護していかないと絶滅のおそれのある野生のいきものこと。

希少種 かず すく じゅんぜつめつき ぐしゅ
数が少なくなってきたいきものこと。準絶滅危惧種。

プランクトン ひじょう ちい おも みず ただよ
ミジンコやケイソウなどのように非常に小さくて、主に水に漂って
いるいきもの。浮遊生物ともいう。

雑食性 にんげん どうぶつしつ しょくぶつしつ りょうほう た せいしつ
人間のように動物質・植物質の両方を食べる性質のこと。

仔魚 さかな ちい か すべ せいちょう
魚の小さなこどものこと。ふ化してから全てのヒレが成長するま
でをいう。

腐葉土 お は たいせき つち ていど ようぶん すいぶん
落ち葉が堆積してぼろぼろになった土。ある程度の養分や水分が
あり、様々な微生物の働きで暖かさを保っている。園芸によく利用
されている。

在来種 とち せいいく こゆう えんげいてき
その土地にもともと成育している固有のいきものこと。園芸的
には昔からの品種をいう。